

■三田村四郎 社会運動家。巡査から共産党员になり，逮捕されて転向したが，戦後も労働者のために活動し続けた。

みたむらしろう

白馬会・・・1896＝ 金沢市尻垂坂通で四男に生まれる。

日露戦争終・・・1905＝9歳：

高等小学校高等科2年で中退，

明治天皇没・・・1912＝16歳：

大阪の川口商業学校(夜学)卒業。

第一次大戦始1914＝18歳：

大阪・東京で各種の職業に従事，

民本主義・・・1916＝20歳：巡査教習所を出て，

ロシア革命・・・1917＝21歳：大阪府巡査となったが，社会主義思想に開眼し，

ベルサイ条約・・・1919＝23歳：服務規律違反で懲戒免職となる。直ちに上京して印刷職工となり，{曉民会}に加入，

大暴落・・・1920＝24歳：日本社会主義同盟に参加した。

原敬首相暗殺1921＝25歳：

この間結婚して1児をもうけたが妻に逃げられ，2児を抱えた九津見房子と再婚，大阪に移り，逸見直造の借家人組合を助ける。

関東大震災・・・1923＝27歳：

日本労働総同盟に加入，大阪印刷労働組合を結成，執行委員になり，

治安維持法・・・1925＝29歳：*日本労働組合評議会結成に際し組織部長，

円本時代始・・・1926＝30歳：政治部長になり，浜松の日本楽器争議には細胞組織を作って指導したが惨敗すると，共産主義グループに参加，神戸地区責任者に，日本共産党再建大会で中央委員候補となり，

金融恐慌・・・1927＝31歳：中央委員のモスクワ行きに際して，留守中央委員となる。さらに北海道地方委員長になり，

共産党事件・・・1928＝32歳：<三・一五事件>後は，渡辺政之輔・鍋山貞親と党を再建，組織部長に就任，理論機関誌{マルクス主義}を再刊した。この間，逮捕に來た警官にピストルを発射して逃れたが，

世界恐慌・・・1929＝33歳：<四・一六事件>に関連して赤坂田町の待合で逮捕された。

満州事変・・・1931＝35歳：両事件の統一公判で“治安維持法駁撃”の代表陳述を行い，

五一五事件・・・1932＝36歳：*第一審で無期懲役の判決を受けると，佐野学・鍋山の転向声明に続いて転向，

帝人疑獄事件1934＝38歳：懲役15年の控訴審判決を受け下獄，

日中戦争始・・・1937＝42歳：

日米開戦・・・1941＝45歳：

創価学会検挙1943＝47歳：刑期満了するも予防拘禁に付され，

敗戦・・・1945＝49歳：*占領政策で釈放された。日本共産党への再入党を希望したが，元警察官・転向歴のため認められず，

新憲法公布・・・1946＝50歳：民主人民連盟中央常務評議員となり，労働戦線統一のため日本労働組合同議結成を推進，事務局員になったが間もなく離任，

三大事件・・・1949＝53歳：民主労働者協会を設立，会長となり，{民主労働者}{週刊社会運動通信}などを発刊，

朝鮮戦争始・・・1950＝54歳：このころ日本社会党に入党，東京都連合会の労働対策部長となり，

独立回復・・・1951＝55歳：社会党分裂には右派に属したが間もなく離党。

マーデー事件・・・1952＝56歳：職場防衛連絡協議会(三田村学校)を結成し，

職場防衛運動，反共労働運動を推進，

美智子妃・・・1959＝63歳：

安保闘争・・・1960＝64歳：<三池争議>では三池労組民主化同盟を組織，第二組合結成の原動力となったが，

晩年は人権擁護調査会常任理事も勤め，

東京リビック 1964＝68歳：肺癌で没した。